

特別支援学校の修学旅行を計画する際のポイント

場面	特別支援学校ならではの困難さ	実際に行われた対応例	参考ウェブサイト ※事前の問い合わせにご利用いただけます。
移動	・長距離や雨天時、段差など、移動が困難である。（特に、車いすを利用する場合）	・移動距離をできるだけ短くする。また、そのための動線（エレベーターやトイレを含む）を確認しておく。	【鉄道】 ・JR東日本『お身体の不自由なお客さまへ』 https://www.jreast.co.jp/equipment/ ・JR東海『お身体の不自由なお客様へ』 https://railway.jr-central.co.jp/pwd/ ・JR西日本『おからだの不自由なお客様へ』 https://www.jr-odekake.net/railroad/service/barrierfree/ ・東京メトロ『バリアフリー便利帳』 https://www.tokyometro.jp/safety/barrierfree/progress/index.html#anc01 【航空機】 ・JAL『お手伝いを希望されるお客さまへのご案内』 https://www.jal.co.jp/jalpri/ ・ANA『お手伝いが必要なお客様へのご案内』 https://www.ana.co.jp/ja/jp/serviceinfo/share/assist/
	・車いすを利用している児童生徒がいる。	・リフト付きバスや福祉タクシーを利用する。	
	・車いすでの乗降に、十分なスペースが必要である。	・テーマパークのシャトルバスなど、全便がリフト付きではない場合がある。そのため、事前にリフト付きバスの運行状況を確認しておく。	
	・長時間待てなかったり、じっとしていられなかったりする児童生徒がいる。 ・トイレを我慢できない児童生徒がいる。	・車いすでの乗降場所を確認し、必要な乗降方法を手配しておく。	
		・バスを利用する場合はこまめに休憩をとり、休憩時間も長めに設定する。	
		・駅や空港で、待機場所を確保しておく。	
		・新幹線の多目的室を利用できるよう、事前に手続きをしておく。	
	・航空機を利用する際、最後に乗り、最初に降りられるように手配しておく。		
宿泊	・車いすを利用している児童生徒がいる。	・車いす対応客室を利用する。	・国土交通省 観光庁 『宿泊施設におけるバリアフリー情報発信のためのマニュアル～実践に向けた手引き～』 https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001250789.pdf 『高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇マニュアル』 宿泊施設編 https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/001345095.pdf 旅行業編 https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001845446.pdf ・日本バリアフリー観光推進機構 『各地相談センターの情報サイトおよびお問い合わせ先』 https://www.nihon-bf.jp/contact/ 『全国バリアフリー旅行情報』 http://barifuri.jp/portal/
	・転落防止や車いす移動のためのスペースが必要である。	・宿泊先に依頼して、ベッドの位置を変える。	
	・入浴介助のために、十分なスペースと時間が必要である。	・ユニットバスでなく、浴室に洗い場のある客室を利用する。	
		・大浴場の貸切利用を、事前に宿泊先に依頼しておく。	
	・興味のあるものに触れてしまい、誤って破損したりけがをしたりする可能性がある。 ・夜尿対策が必要である。	・部屋の花、額、陶器の湯飲みなどを撤去してもらうよう、事前に宿泊先に依頼しておく。 ・ベッドや布団に防水シートを用意する。	
食事	・車いすを利用している児童生徒がいる。	・椅子席を利用し、事前にテーブルの高さを確認しておく。	
	・にぎやかな場所を苦手とする児童生徒がいる。	・個室を利用する。	
	・自分たちのペースでゆったりとした食事が望まれる。		
	・食事に対してこだわりがある児童生徒がいる。（見通しがもてると安心できる。）	・メニューを選択できるようにする。 ・メニューの写真を事前に入手し、児童生徒に見せておく。	
	・二次調理を必要とすることがある。	・二次調理の内容を確認し、手配しておく。（一人一人の状況に対応した刻み方、ミキサーのかけ方など）	
	・持参した道具で、二次調理の対応する場合がある。	・二次調理に必要な道具や食器の洗浄を、事前に依頼しておく。	
買い物	・混雑した場所を苦手とする児童生徒がいる。	・広いスペースのお店を利用する。	・国土交通省 観光庁 『高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇マニュアル』 観光地域編 https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001845486.pdf
	・商品の選択に時間がかかる。	・買い物の計画を立てられるように、事前に商品の写真や価格のリストを入手しておく。	
	・できるだけ児童生徒自身の力で支払えるようにしたいが、代金の支払いに時間がかかる。	・児童生徒のペースに合わせたやりとりや、専用レジの設定を事前に依頼しておく。	
	・時間が足りなかったり見つけられなかったりして、希望する商品を買損ねてしまうことがある。	・買えなかった物を買直せるように、買い物ができる場所を複数確保しておく。	
見学・体験	・視覚障害のある児童生徒がいる。	・できるだけ、触ることができるような活動を設定する。	・東京ディズニーリゾート『バリアフリー』 https://www.tokyodisneyresort.jp/tdr/bfree.html ・東京スカイツリー『ユニバーサルサービスガイド』 http://www.tokyo-skytree.jp/floor/pdf/universal_service_guide.pdf ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン『バリアフリーガイド』 https://www.usj.co.jp/serviceguide/barrier_free/
		・触察地図や点字ガイドブックがあれば、事前に手配しておく。	
	・聴覚障害のある児童生徒がいる。	・手話通訳を手配しておく。 ・音声だけでなく映像による紹介を、事前に依頼しておく。	
	・テーマパークで、長時間アトラクションを待つことができない児童生徒がいる。	・ゲストアシスタントカード（※）、ゲストサポートパスなどの発行を手配しておく。 ※現在「ディスアビリティアクセスサービスならびに合流利用サービス」と、サービス内容が変更されている。	
	・急な体調不良に備える必要がある。	・救護室や休憩場所を確保しておく。	